



この苗ってなにかな？(横瀬保育所)

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No. 11

2000.5.15発行

発行 徳島県勝浦町議会
 編集 議会広報調査特別委員会
 〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
 TEL (08854) 2-2511

おじやまします・議会のらびや

20

町にお金がないってほんと？

クローズアップ

19

一般質問に12議員が登壇

8

委員会の活動報告

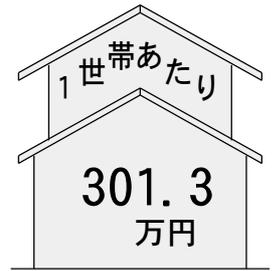
6

12年度予算を可決

2

予算を可決

8,210万円
2,579万5千円



三月定例議会
六十二億七百八十九万五千円を慎重審議

簡易水道、住宅新築資金、介護保険)

一般会計 主な質疑

三月定例議会は、三月十日から二十九日までの二十日間開かれました。平成十一年度補正予算や十二年度予算、および条例改正、監査委員の選任同意等について審議し可決しました。また、議員提案により、議員が県内出張する際の日当の廃止等が全員一致で可決されました。一般質問には、十二人の議員が登壇し、行財政改革や介護保険など活発な議論が行われました。

問 行政改革によっていくらか経費の節減をしたか。

答 約三千三百万円である。

問 今まで通りの事業をやりながら、財政を立て直すことはできるのか。

答 不可能だ。事業選択をしなければならない。

問 東部広域農道や農免農道は、国、県の補助率が高く、雇用促進のためにも有利な事業だ。今山橋ばかり優先するのでなく、他の事業にも公平に予算をつけるべきだ。

答 公平かどうかは単年度だけで判断すべきではない。今山橋は生活に密着した橋であり、老朽化や死亡事故の発生など緊急を要する事業だ。

問 同和団体助成金の削減・廃止決議から一年半過ぎたのに、いっこうに実現されないが。

答 来年度はどういうことがあっても減額の方向に進めたい。最大限の努力をする。



地域交流スペース「みかんの郷」での交流会

12年度

一般会計 37億
特別会計 24億

(国民健康保健、老人保健、集落排水、)

どう使う一般会計

総務費



128,042円
(125,071円)

民生費



53,893円
(100,925円)

衛生費



29,191円
(28,006円)

農林水産業費



59,308円
(49,975円)

土木費



91,897円
(77,521円)

消防費



4,615円
(5,487円)

教育費



41,650円
(43,978円)

災害復旧費



7,702円
(9,083円)

議会費



8,774円
(10,008円)

商工費



1,907円
(2,148円)

公債費



111,485円
(110,404円)

予備費



2,144円
(2,115円)

一人あたりの予算は

()内は前年度

答 七十一万二千円支出は増えるが、補助金等の増により町の負担は八百三十九万一千円少なくなる。

問 少子化対策として、保育所での就学前教育の充実と保育料の引き下げを行っているが、町の負担はどうなるのか。

答 利用者が減っており、今までも大きく増えてきたが、今後かなり増加する見込みだ。

問 徳島バス勝浦線維持のための補助金六百五十五万円は、今後も増える見通しか。



安心できる老後へ介護保険スタート

条例と予算を可決

保険料負担が困難な人の

救済を約束（町長）

問 所得が少ないために、保険料が払えない人が出たらどうするのか。

答 行政として、見捨てるようなことはしない。何らかの救済措置をとることを約束する。

問 救済の方法は生活保護か、条例改正するしかない。保険料減免のための条例改正をする考えはあるか。

答 保険料徴収が始まる十月までによく検討し、改正案を提案したい。

問 国が示した条件以外の減免をしたときの影響は。

答 保険料の引き上げか、一般会計からの負担となる。

議員提案で
県内出張の日当などを廃止

議員提案により、議員の県内出張の日当二千円と本会議出席の費用弁償千六百円を廃止する条例改正案が提出され、全員一致で可決されました。年間約八十万円が節減されました。

なお、職員は二十五km以内

一般会計予算

同和団体助成金削減の
修正案を否決

修正案の提案 井出議員

「財政再建をやるうとうときに、同和団体助成金を聖域にしたままでは町民の理解は得られない。同和団体助成金二百七十三万八千円、徳島県市町村同和对策推進議員連絡協議会負担金八千円を削減し、減債基金に積み立てすべきだ。」

賛成討論 中西 原田議員

「町議会での削減決議から二年半も経過している。また、厳しい財政状況から考えても削減すべきだ。」

反対討論 森健 押並議員

「全ての町村が出している助成金であり、勝浦町だけが削減するのは困難だ。趣旨は分かるが、今はその時期でない。」

採決

賛成三人、反対十人で修正案は否決され、原案が賛成多数で可決されました。

監査委員に

豊田明氏の後任として、
栗城 宏氏(中山)の
選任に同意

国保税据え置きの方算を可決

最高額は六十万円に

(国保税五十三万円、介護保険料七万円)

人間ドック補助金は五十人分を計上

問 最高額になる世帯数は。

答 国保で六十八世帯、介護保険で十三世帯の見込みである。

問 滞納した場合の罰則は。

答 一年以上滞納すると、保険証を返還させる。病院で医療費全額を支払い、その後、税務課で七割分を戻してもらうことになる。

町道認定

西岡中央線、星谷ニッ森・野田尾線、中山豊毛本線を町道として認定しました。

精力的な運動で成果

引き続き 過疎町村指定

十二年度から、新しく「過疎町村自立促進特別措置法」が施行になりましたが、勝浦町は、引き続き「過疎町村」に指定されました。

これは、昨年、国や各政党の国会議員などに対して、町長と共に議会全員による精力的な運動を行った結果です。「過疎町村」は、過疎債など財政的な大きなメリットがあります。

臨時議会

課の統廃合を可決

第一回臨時議会

二月十六日に開催され、十課を七課に統廃合する条例等が可決されました。

問 なぜ、同和対策課を廃止しないのか。

答 前向きに取り組むが、法期限内は置くということでご理解願いたい。

問 町長は、二年前に課を増やしたが、今度は逆に、統合の提案がされたことは理解に苦しむ。

答 各課の横のつながりの問題や行政改革の答申を検討した結果である。

選挙管理委員を選出

第二回臨時議会

四月十九日に開催され、選挙管理委員および同補充員の選挙をしました。

選挙管理委員には

坪井芳夫氏 三崎栄一氏
市原宏之氏 勝谷克己氏

同補充員には

花房恒夫氏 中川進夫氏
東君夫氏 中井修氏

が当選しました。

収入役の選任に同意

第三回臨時議会

五月八日〜十二日に開催され、長町豊秋氏の後任として、松浦照雄氏の選任に同意しました。



松浦照雄氏
五十三歳(星谷)



効率的な行政運営を

総務

行財政改革元年 各地区での説明会も

三月六日、委員会を開き、十一年度補正予算、十二年度当初予算、条例改正等について説明を受け、審議しました。

問 十二年度予算の基本的考え方は。

答 健全財政のための行財政改革を基本とする。

まず、自ら経費節減に努めるとともに、町民に負担がかかるものについては、各地区を回り理解を求めていきたい。

給食センターでの炊飯も検討

問 学校給食の炊飯は、徳島市にある炊飯センターに委託しているが、一食当たりの経費は。

答 炊飯センターでは、一食当たり二十七・五円。全国でも五〜六番目に高いと聞いている。給食センターでの炊飯も検討したい。



給食センターでの炊飯も検討

消防線法大会に第八分団出場

問 今年七月の、徳島県消防線法大会出場に対する町の補助は。
答 第六分団に対し、八十万円の補助金を支出する予定である。

総務委員会 視察報告

情報公開制度の実施に向けて

神奈川県鎌倉市

山梨県身延町みのぶを見る

住民参加の町づくり

平成十一年九月一日から三日、情報公開制度について視察研修を行いました。

制度の実施は身延町が昭和六十二年鎌倉市が平成六年からと、全国的にも先進的な取り組みがされています。

この制度は、行政が持っている公文書を住民の請求に応じて公開することにより、住民の行政への参加意識と信頼関係を高めるためのものです。

プライバシーの保護

公開の対象は全ての機関が持っている情報等であり、個人についての情報や行政を進める上で円滑な運営が著しく妨げられる情報、法令で非公開とされているものを

については、公開しないことになっていきます。

公開制度とともに、個人情報保護制度を設け、プライバシーの保護を行っています。

情報公開に係る組織として、公文書公開審議会、個人情報保護審議会、請求した公文書が公開されない時に異議申し立てができる公文書公開審議会が設置されています。

公開実績ゼロの町

公開実績についてみると、鎌倉市が年間五十件程あるのに対し、身延町では制定以来十二年間ゼロであり、行政が積極的に情報提供を行っているのが特徴です。

勝浦町においても、十三年度からの公開制度実施に向けて準備をしていますが、より開かれた行政によって、住民参加の町づくりを行いたいものです。

活動報告

視察をしました。

産業建設

中山間地等直接支払制度に 八千四百万円の予算



中山間地の棚田

二月二十八日、委員会を開催し、十一年度補正予算、十二年度当初予算、町道認定、条例改正等について説明を受け審議しました。

問 中山間地等直接支払制度への取り組みは。対象地は七十六haある。集落協定を結ぶ必要があるか。

答 何かアイデアが必要でないか。新たな事業展開が求められている。業者の自助努力も必要と思う。

問 町道改良や維持補修費は、総延長やいたみ具合からみて額が少ない。基本的な取り組み姿勢を明確にすべきでないか。

答 緊急の場合は補正対応するが、順位づけ等を考えたい。

**町道改良予算は
三千万円
補修費は
わずか五百万円余**

委員会の

審査・調査・視

し尿処理に 280万円の町費負担増

問 町長は本会議の答弁で、入居者は一般公募すると答弁していたにもかかわらず、団体役員の主張を受け入れ地区の人を優先して入居させるとい

**中角住宅
入居問題で
町長が減給**

「現状では町民負担の増額はできない。代わりに町負担として一石あたり二百円、総額で二百八十万円を町負担とする」ということになりました。

二月十日、二十九日、三月一日、二日、四月四日の五日間委員会を開き審議しました。理事者から、し尿処理料金（業者手数料）一石あたり二百五十円を値上げしたいという提案がありました。



11年11月に完成した2戸の中角住宅

答 一般公募ということについて私の理解が十分でなく申し訳なく思っている。減給して責任をとりたい。委員会として、「不法入居者をなくすという団体役員の確約書がとれるなら、方針転換を認める」という結論になりました。

厚生

針に転換した。その責任は。

介護保険料

払えない人への対応は

九月までに考えたい (町長)

原田昭三 議員



のある人には相応の負担をしてもらうのが本来である。相互扶助ということをはき違えているのではないか。

答 川口町長 相互扶助というものは、全町民に公平に負担してもらおうことだと思っている。

問 町長は「介護保険は相互扶助で」と言っているが、この制度は社会保障の一つの制度であり、所得の少ない人の負担は小さく、お金

問 所得が少ないために、介護保険料を払えない人ができた場合どうするのか。徳島市においては、国が示す減免の条件の上に「その他特別の事情があると認められた」という項目を独自に加えているが、町としての考えは。

答 川口町長 九月までにどのようにするか考えていきたい。



介護保険対象となるコスモス (病院横)

各種団体への助成金等の見直しは

問 財政の悪化に伴い、各種団体への助成金等の見直し基準はどこに置くのか。

答 滝花参事兼企画財政課長 必要性や効果、妥当性を基準としたいが、福祉関係の助成については別に考えていきたい。

問 最近では税金の自主計算が進んできているので、農業所得標準協議会への負担金は必要なのではないか。

答 倉橋助役 今はまだ、必要経費がわからない人もいるが、近いうちに廃止

するようになると思われる。
問 同和団体助成金は、国の法律や町単事業も平成十三年で終了するので、十四年度には廃止すべきでないか。

女性の地位向上の取り組みを

答 川口町長 徳島県町村会の状況もだいぶ変わりつつあるので、できるだけ早く廃止するように取り組んでいきたい。

問 所信表明の中で、女性問題についてはあまり触れられていないが、女性の社会参加や地位向上に取り組むべきではないか。

答 川口町長 そのような方向で取り組んでいきたい。

情報公開

職員の意識改革は

三班に分け研修を計画 (総務課長)

国清 栄 議員



問 情報公開に係る各課の対応と、異議申立てに対するのか。

答 国清総務課長 公開の体制については、各課代表者によるプロジェクトチームの設置が必要である。異議申し立てに対しては、

答 松浦教育長 パソコンは、中学校で三十四台、小学校で十七台ずつ導入されている。

中学校では、県の予算で臨時職員を小松島、勝浦に配置してもらい、週二回の授業を行っている。また、知識のある先生が三人いるので対応は



宮本久治 議員

南部農免農道 第一工区完成はいつ

十七年度の予定（耕地課長）

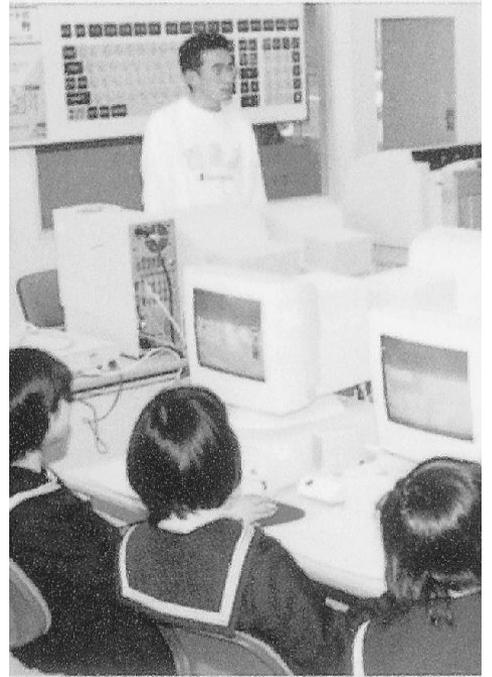
問 十二年度の南部農免農道の予算額は。

答 石尾耕地課長 事業費は一億円、事務費五百万円である。

問 十一年度の事業は完成しているか。

答 石尾耕地課長 第一工区は完成、第二工区については繰越事業になっている。

問 第一工区の完成予定は。



中学校でのコンピューター授業

問 情報公開条例制定に向け、職員の意識改革をどう進めるのか。

答 国清総務課長 十一年二月に、全職員を対象に文書管理、公開条例についての研修を行った。十二年度については、公開に向けての管理職研修、作業を推進する課長補佐と係長を対象にした専門研修、一般職研修の三班に分け研修の計画をしている。

情報公開審査会に諮問し審議をお願いする。

町民を対象としたコンピューター教育は

町民を対象としたコンピューター教育は

問 情報化時代の中でコンピューター利用が常識となっている。学校での教育の状況と、今後、町民を対象とした教育に取り組む考えは。

できると思っている。各小学校では、先生を対象に週一回の講習がされている。小学校については、緊急地域雇用特別交付金による先生の要望をしている。町民を対象とした取り組みについては、学校側と機器使用について話し合ってみよう。

負担はないのか。

答 戸川産業振興課長 全て県の委託金で、町の

財源は支出していない。

問 四国のみちに公衆便所がない。現在「よつてネ市」にある公衆便所の表示はわかりにくい。大きな表示板を作る考えは。

答 川口町長 農協と協議したい。

問 横瀬の農協にあった商店街の公衆便所が農協の新築に伴い撤去され、現在もできていない。新築後に建設するとの話は、合併後も引き継がれているのか。

答 川口町長 合併後も継承されていると思っ

四国のみち 維持管理費は

問 一部完成区間の舗装を県に要望できないか。川口町長 舗装については、地元の希望により全体事業費で調整できる。

問 四国のみち維持管理委託金の総額は。

答 戸川産業振興課長 四団体へ委託しており、総額で八十万七千円である。

問 維持管理費は県の補助と聞いているが、町の



南部農免農道第一工区（生名）

みかん大安値の対策は

町の財政支援は難しい(町長)

中西晴美 議員



答 川口町長 品質低下と不況などが安値の一番の原因だと思う。また、みかんよりイチゴの味が消費者に好まれている。

問 私はみかんの専門家だ。安値の原因など聞いていない。安値対策をどうするかだ。国、県へ融資や利子補給、特別交付税の大幅増額を要請すべきだ。

答 また、他県産地では、テレビ宣伝による消費拡大策や独自の救済策を打ち出しているところもあると聞くが、調査はできているか。

答 川口町長 長雨、日照不足が自然災害である。国や県に認めてもらえるかどうか。寒凍害の時のような補助金は難しいと思う。

答 県下で二、三番目に悪い財政状況なので町の財政支援は難しい。肥料など購買代金の利子補給は、イチゴやナス、キュウリなどもあるので、みかんだけというわけにはいかない。

今後はマーケティングに力を入れたい。



貯蔵みかん 今年は大安値

展開していきたい。
各県の救済策は、大分県、宮崎県で行っているようだが十分に把握はできていない。

みかん専門職員設置は

今、検討の最中(町長)

問 十二月議会で、みかん振興対策として専門職を置くべきだと質問した。

町長は「技術面と販売面があり両方は置けないが、小松島の農業改良普及センターが徳島に統合なることもあり、検討したい」との答弁をした。しかし、当初予算に計上されていない。どうなっているのか。

答 川口町長 農協、町、普及センターの三者が一体となって考えていく問題もあると思う。

農協もマーケティングや営農指導体制の確立に力を入れるとのことで、技術面においては、今すでに専門職員が張り付いている。

町の専門職員は、いろいろと検討している最中である。

十二年度は、貯蔵みかんの強力なマーケティング戦略を

答 戸川産業振興課長 今回の安値は全国的な問題であり、激甚災害の指定を受けた寒凍害とは異なる。また、徳島県は全国で十六番目のみかん生産県で、一千三百四十ha、一位の愛媛県は八千八百三十haであり、そのあたりのこともあると思う。

今後は、足腰の強い農業を

問 二十年前の寒凍害対策では、町と議会一体となって国へ陳情した結果、約二十億円の融資や補助金を獲得し、みかん産業再生に取り組んだ。

答 戸川産業振興課長 大安値の原因は豊作と夏の長雨、日照不足による品質低下、不況や消費が少量多品目の時代になったことなどが考えられる。

市場法の改正で、従来のセリから相対取引に変わり生産者が不利な傾向である。

新行政改革大綱

財政健全化の

目標達成への対応は

事業選択と順位をつける（町長）

中田丑五郎 議員



問 財政の硬直化を改善するため、町債の新規発行を十二年度から抑制し、公債比率十五%以内等の目標達成への対応は。

答 川口町長 十二年度から取り組み、今後は、はつきりした事業選択を示し、順位をつけ、最大限の努力をしたい。

答 滝花参事兼企画財政課長 財政健全化計画を立てても、五年間で目標の達成は無理である。

問 財政再建は、新規町債発行の抑制にかかっている。

答 事務事業の整理合理化の中で、補助金の整理統合を行うこととなっているが、補助件数と総額は。

問 滝花参事兼企画財政課長 二百五十八件、一億六千六百六十二万円である。

答 団体の必要性等を判断する材料として、事業や決算等の資料を町民に示す考えはあるか。

問 滝花参事兼企画財政課長 情報公開制度が始まれば対応できるのではないか。

情報公開制度の導入は

問 行政運営における町民との信頼関係の確保の上から、町民と行政が情報を共有するための情報公開制度の導入時期は。

答 国清総務課長 一部公開の方向になると考えている。

問 川口町長 平成十三年度から導入したい。

答 過去の全ての情報を公開する「全部公開」、限られた年度からの公開「一部公開」のいずれの方向を目指しているのか。

問 国清総務課長 一部公開の方向になると考えている。

答 情報公開と情報の保護は、相反することであるが、情報公開条例の制定と

問 併せて個人情報保護条例が必要と思うが。

答 国清総務課長 個人情報保護制度は必要と思う。

高齢者の生きがい対策は

問 高齢者が、社会に支えられる側から支える側の一員として、長年の豊富



シルバーパワーによるせん定作業

な経験や能力を地域社会に生かせるような、雇用の創設を考える場として、生き生きセミナーを開講しては。

問 川口町長 高齢者講座は、今後、シルバー人材センターの活用と併せた方向で努力したい。

答 高齢者の人材活用現場であるシルバー人材センターの登録人数、就業状況は。

問 光井福祉課長 会員数五十三人、平成十年年度の就業状況は、契約件数三百三十二件、延べ人員千八百七十四人、配分金千百一十万円である。

若者定住促進対策へのセールスポイントは

問 町の人口は、年々減少が続いている。

答 二十一世紀の若者定住へ、地域の特性を生かした魅力ある町づくりのセールスポイントは何か。

答 滝花参事兼企画財政課長 総合的に町をPRすることは大事なことだ。町には病院や保育所も充実しており、若い人に対し子育て支援の町として売り出してはどうかと思う。

中山間地域等直接支払い制度

の取り組みは

広報や地区巡回で周知したい

(産業振興課長)

森 敏治 議員



ふるさと農道の 早期完成を

問 ふるさと農道の事業状況と、早期完成のため補正予算を組む考えは。

答 石尾耕地課長 坂本旧

県道からバイパスに通じるふるさと農道は、延長三百五十m、幅員四m、総工事費二億円である。

現在四十%の進捗よく率であり、平成十四年度完成予定で努力している。

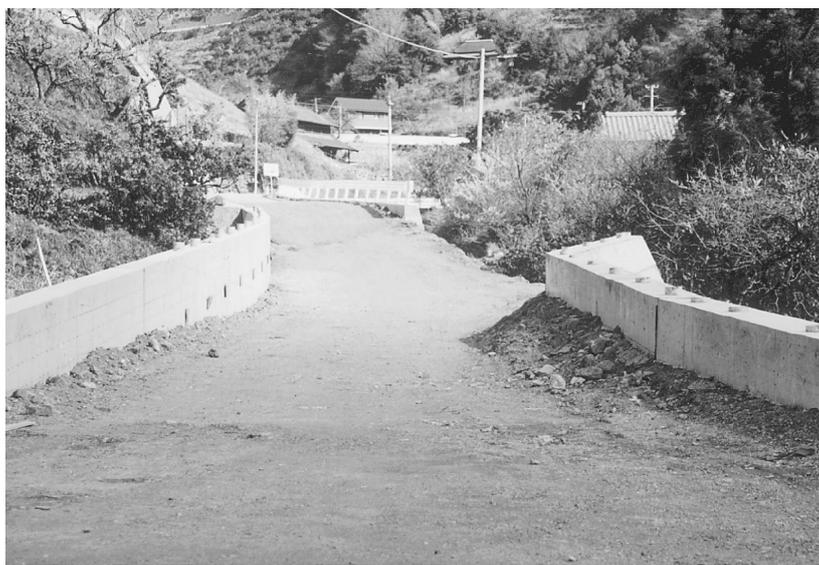
補正については、財政事情も厳しく十分協議したい。

電源立地事業

十二年度の計画は

問 電源立地促進対策事業の概要と今後の計画は。

答 秋本土木課長 事業費は六億七千万円、道路分は四億円で、繰り越しされ



完成が急がれる坂本ふるさと農道

た十一年分が完成すると七十%の進捗よく率となる。

平成十二年度の計画は、坂本大伏尾線のほか、横瀬、棚野、掛谷地区である。

町内運送業者の

排除をどう思うか

問 農協発足当時から共存共栄してきた町内運送業者が、合併後排除された。

輸送サービスの低下が懸念さ

れるが、町長はどう受け止めているか。

答 川口町長 町内企業の育成という観点から、どのような状況になつてい

町村合併の取り組みは

問 県は積極的な姿勢であり、他町村も具体的な

取り組みが見られるが、現時点でどう考えているか。

答 川口町長 十二年度中に、議会の特別委員会設置をお願いしたいとも考えている。また、行政においても、より充実した取り組みを検討する。

町としても避けて通れない問題であり、町民や議会等の意見を聞き対応したい。

坂小跡地利用計画は

問 坂本小学校跡地の利活用について、現時点で

どのようなまとめがされているか。

答 滝花参事兼企画財政課長 昨年十月から、グ

リーンツーリズム事業を活用し、コンサルタントに委託、検討してきた。農村レストラン事業、宿泊受入れ事業、農産加工事業、浴場事業など六つの事業が提案された。今後は地元と協議しながら事業を決め、施設の改造に取り組む。

問 坂本地区は、将来への明るさが見えない。グリーンツーリズム事業を活用し温泉を掘り、夢と希望の湧く町づくりをしては。

答 川口町長 温泉が出るか出ないか専門家に調査してもらい、今後検討してみたい。

問 直接支払制度の目的は。また、どのように取り組むのか。

答 戸川産業振興課長 担地が増加している今日、農業生産活動を通じ、国土の保全水源のかん養、良好な景観形成等多面的機能を維持するため、農業生産者に直接支払いをする制度である。

集団あるいは個別協定することになるが、具体的方針が示された段階で、広報や地区巡回で周知したい。

町民に分かりやすい行政改革を

今すぐにはできない（町長）

福徳重二 議員



答 滝花参事兼企画財政課長 災害時以外は補正を組まないでいきたいのが私の考えである。

サラリーマンの

ための町政は

問 町の税収はサラリーマンが多い。活性化のため、サラリーマンを基本とした政策で町政をせよ。

答 川口町長 慎重に考えていきたいと思う。

新今山橋 橋名は変えるのか

問 新今山橋の工事は、計画通り進んでいるのか。

答 秋本土木課長 国の補助事業枠によって完成時期は多少左右される。

問 今山橋の名称は変えるのか。



改良予定の沼江用水

答 秋本土木課長 変えたくはないが、地元の実行委員会とよく相談したい。

問 沼江用水改良事業の工事着手は。

答 石尾耕地課長 国への採択申請を行い、内示を得ている。本年の秋ごろ着工を予定している。

介護保険認定ランク に差はないのか

問 聞き取り調査の結果、市町村間において介護ランクの決定に違いが出ている。複数の調査員が介護予定者に聞き取り調査をすれば、認定結果に違いが出ると思う。

答 光井福祉課長 的確な調査ができています。

保育所の就学前 教育の進展は

問 四月から、保育所で五歳児の就学前教育が実施されるが、幼稚園のような午前中のみ希望者が二名と聞く。取り組みに誤りはなかったのか。

答 岡本住民課長 取り組みに誤りはなかったと思う。

病院、給食センター、 保育所の民間委託は

問 新行政改革大綱では、病院、給食センター、保育所は、町民サービスの確保と行政運営の両面から民間委託、民間移管の在り方を検討するとあるが。

答 川口町長 引き続き検討していきたい。

問 各種団体への補助金、助成金の見直しは。

答 川口町長 補助金については、関係者と話し合いの中で決めていきたい。

財政再建の具体的方針がない

町民に厳しさの理解を（町長）

井出幸夫 議員



てもらうことが大事だ。

問 町民が疑問を持っていく支出は、きつぱり削つてこそ理解も得られる。同和団体助成金等が一番に削減すべきだ。

答 川口町長 町村会で削減について意見を述べたが、かなりの反響もあり、理解してくれる雰囲気になりつつある。

問 十二年度予算は、財政再建の第一歩となるのか。

答 川口町長 第一歩となると思う。

答 滝花参事兼企画財政課長 もう少し思い切つたことも望んだが、行政改革によつて三千三百万円余りの歳出減を行った。

問 再建の具体的方針が示されていない。町長の事業選択のものさしは何か。

答 川口町長 事業の利用度、緊急性、補助率等を考えて予算編成した。まず、町民に財政の厳しさを理解し

介護保険料減免は

条例の改正も（福祉課長）

問 低所得者への介護保険料減免の必要性を認めながら、なぜ制度を作らないのか。

答 光井福祉課長 どうしても支払いできない人には対策を考えていかななくてはならない。必要に応じて条例の改正も考えたい。

問 国の特別対策によつて、住民税非課税世帯のうち特に生計困難な人を対象に、社会福祉法人が利用料の二分

の一度を減免できる制度ができた。勝寿会の対応は。
答 光井福祉課長 軽減を実施したいとのことである。

訪問歯科診療の対応は

問 昨年提案した訪問歯科診療についての対応は。
答 光井福祉課長 十一年度には十五地区で訪問歯科検診を実施し、各地区十人から十三人が受診した。寝たきりの人については、機器があるなどの問題もあるので検討課題だ。先進地の視察をしたい。

乳幼児医療無料の拡大を

問 乳幼児医療無料年齢を一歳引き上げ、三歳児まで無料にするのに必要な予算は。
答 光井福祉課長 対象者が四十人増えるので、約百六十万円必要である。

問 少子化対策として実施しては。
答 川口町長 検討中だ。

通学区区域見直しの問題点は

問 普通科の通学区の見直しにより、十五年度からは勝浦高校と小松島高校のみが通学区となる。問題は何か。
答 松浦教育長 選択幅が少なくなるという問題があるが、勝浦・小松島以外の推薦枠も認められる予定だ。

枠の拡大について県へ働きかけていきたい。

農業者年金掛け損になるのでは

問 農業者年金制度の改革案が農水省で検討されているが、内容は。
答 戸川産業振興課長 改革は十三年度実施の予定である。現行受給者は三割程度の年金額が削減され、若い人の場合には掛け損になる場合もある。

問 勝浦高校への進学奨励金十万円を廃止する理由は。
答 川口町長 六年度から実施してきたが、三十%が地元高校へ進学するなど定着してきた。財政も厳しく、また、十五年度からの学区再編もあるので廃止をした。



勝浦高校、学区再編の影響は……

町村合併

議会特別委員会設置に

ついでの考えは

設置してもらえればありがたい(町長)

押栗義雄 議員



会を設置することについての考えは。

答 川口町長 町村合併は避けて通れない時期が必ず来る。特別委員会を設置してもらえればありがたい。

営農技術指導の強化策は

営農室設置は早い時期に取り組みたい(町長)

問 今、農家もつとも期待しているのは、営農技術指導の強化策だと思つた。

答 川口町長 専任技術員については、JAと協

議中である。営農室設置は、早い時期に前向きに取り組みたい。

問 町村合併に対する国や県の条件提示はどうか。また、国の特例措置の期限である十七年度に向けての対応策は。

答 国清総務課長 国や県が合併を推進する理由は、地方分権の受け皿づくり、少子高齢化社会への対応、効率的な行政展開である。今後、他町村の動向を見ながら、町民の意見を集約していきたい。合併問題を調査研究するための議会特別委員

問 中山間地直接支払い制度に対する取り組みは。戸川産業振興課長、地域農政推進委員、区長

答 果樹研究会、農業委員会等の協力を得ながら、課の総力を挙げて取り組みたい。

ビッグひな祭りの今後は

問 日本一に成長したビッグひな祭りの定着に向けての対応策は。

答 川口町長 住民参加にやる多くのボランティアが必要と思う。また、三万人もの交流人口をいかに産業の活性化に結びつけるかが課題だ。



ボランティアで支えられているビッグひな祭り

効率的な行政運営のあり方は

問 今後の効率的な行政運営のあり方は。

答 川口町長 職員意識改革が必要であり、研修の機会を作り公僕としての認識を深めたい。

介護保険の周知は

臨時職員の巡回訪問で(福祉課長)

問 半数近くの人が制度を理解できていないと思われるが、どのように周知徹底するのか。また、町内施設で受け入れできるのか。

答 光井福祉課長 制度の変化が見込まれる中で、臨時職員の巡回訪問で周知したい。

また、町内施設での受け入れはほぼ可能だと思われる。介護保険の対象とならない人は、国の軽度生活支援事業を活用し、日常生活の手助けをしたい。

町道補修の対応策は

地元の出役も（土木課長）

西浜勝己 議員



ルを取られる危険性が高い。どのような対応を考えているか。

答

秋本土木課長 町道である以上、悪ければ補

修しなければならぬが、予算が少なくその枠内で辛抱してもらわなければ仕方がない。

問

区長とも相談の上、各地区内での優先順位を決めてはどうか。

答

秋本土木課長 区長会等でも協議していきたい。また、原材料支給による地元の出役等でもお願いできたらと思う。

問

最近、道路工事で工期が守られず、完成が大幅に遅れているとの住民の苦情がある。原因はどこにあるのか。また、どのような行政指導をしているのか。

答

秋本土木課長 工期の遅れで住民に迷惑をかけ、申し訳なく思っている。原因はいろいろあるが、今後十分指導を徹底していきたい。

問

町長の所信表明の重点項目の一つに道路網の整備があるが、町道の痛みがひどい箇所が数多くある。特に二輪車はハンド



予算が少ない町道補修

防災意識の高揚策は

何か計画を立ててみたい

（町長）

問

昭和二十五年九月三日のジェーン台風により、横瀬町と生比奈村は大被害を受けた。不幸中の幸いだったのはあの日が丁度日曜日であったこと、台風通過が昼間だったことである。五十年になる今年の九月三日も日曜日だ。過去の大被害の教訓を風化させてはならない。



円城寺山付近から眺めたジェーン台風以前の横瀬橋周辺

答

川口町長 私は小学生だったが、あの日の災害の生々しさは忘れることはない。何か計画を立ててみたい。

町村合併パターンについての見解は

現在は白紙である

（町長）

問

徳島新聞昨年元日号によると、町村合併パターンA案、B案とも勝浦郡と小松島市との合併が県指針として示されている。

地域住民に何の協議もなく、だれがどこで決めたのか。地方の時代に逆行するような行為である。町長の見解は。

答

川口町長 勝浦町としては、町村合併が必要なのかどうかを議会や住民と共に考える中で方向づけをする必要がある、現在は白紙で臨みたい。

できるのか

重点項目の実現

行財政改革はぜひやりとげたい（助役）

問

町長の所信表明は総花的、抽象的な言葉を並べてている。行財政改革は断行できるのか。

答

滝花参事兼企画財政課長 厳しい財政事情であり、事業選択を行う以外にない。

答

倉橋助役 行財政改革はぜひやりとげたい。

町村合併

上勝町長と話し合いを

機会をとらえ話し合いたい (町長)



溝田 義昭 議員

町外居住の職員数は

臨時を含め二十三人 (総務課長)

問 町外で居住している職員は臨時も含めて何人いるか。

答 国清総務課長 正職員二十一人、臨時職員二人である。

問 上勝町は上那賀町、木沢村との合併を検討中のようだが、上勝町と勝浦町は一番交流が深い。

上勝町長と合併について真剣に話し合う必要があると思うが。

答 川口町長 住民の声を重視しながら、いい方向に向くよう町議会などの機会をとらえ話し合っている。

情報公開条例

知る権利の明記は

今後の大きな検討課題 (総務課長)

問 十三年度制定に向け準備しているが、他町村の条例をモデルにするのか。また、知る権利について明記するのか。

答 国清総務課長 先進的な条例を参考に案を作りたい。知る権利の明記は、今後の大きな検討課題と考えている。

ゴミ

不法投棄の対策を

問 県道徳島―上那賀線の田浦の堤防に多量のゴミが不法投棄され、勝浦の玄關として感じが悪い。ゴミの分別が厳しくなったり、交流人口が増えるとならば、不法投棄が多くなる恐れがある。保健部長さんに月一回

ますますふえるゴミの不法投棄 (田浦堤防)



ますますふえるゴミの不法投棄 (田浦堤防)

ぐらい、地区内の巡回をお願いしてはどうか。

答 桂木環境課長 田浦堤防の不法投棄については、県の河川管理の方から十二年度予算で対応することである。巡回については、保健部長会で協議したい。

税務相談は

住民の立場で

問 税務相談で何人位申告に来ているのか。税は身近なものであるのに税法は

非常に難しい。住民の立場に立つて適切な指導や相談ができていくか。

十二年度

夢の持てる事業は

問 厳しい十二年度予算の中で、夢の持てる事業は何か。

答 滝花参事兼企画財政課長 農業の振興を図る農村プロモーション協議会の具体的活動の実践、住宅マスタープランの推進、保育所での子育て支援対策などである。

問 住民に夢を与える意味から、淡水魚稚魚放流補助金の一部を、ニシキゴイの放流にあてるよう漁業組合に要望してはどうか。

答 戸川産業振興課長 勝浦川は町の宝、大切にしたい心はみんな同じだと思える。漁協の方にコイ放流の内容的なことも聞きながら、要望もしていきたいと思っている。

新行政改革大綱

当初予算でどう取り組んだか

健全財政を基本に見直しを徹底

(参事兼企画財政課長)



森 健 議員

答 川口町長 現状に甘んずることなく、いつも

問題意識を持ち、効率と将来を見越した政策のための努力を惜しまない一生懸命さを期待している。

問 主要課題に「財政健全化計画」とあるがどのようなものか。

答 滝花参事兼企画財政課長 財政悪化に際し、自主的に健全化の方策を樹立

問 十二年度一般会計当初予算案「三十七億八千二百十万円」ゴロ合わせをすれば、ミンナハフジユウ、となる。

新行政改革初年度として、予算編成は何を基本としたか。
答 滝花参事兼企画財政課長 物件費、維持補修費等の見直しを徹底し町債発行を抑制した。

問 「大綱」では、事務事業の合理化が述べられている。予算執行に当たり、職員に何を期待するか。



改良が進む家台中山線

するもので、財政指数が一定の基準になると、立てなければならぬ。
十二年度中に計画を立てる。

地方分権時代の

人材育成は

研修で職員の意識改革を図りたい

(総務課長)

問 職員の意識改革や、幅広い見識を持った人材の育成、確保が課題にあげられている。

分権時代の最も重要なことの一つであるが、どう取り組むのか。

答 国清総務課長 県市町村課へ一人を派遣、国家公務員

新規採用職員の研修要請があり、これを受け入れる。今後において国との交流のきっかけになればと期待している。

民間へは新入職員の研修を依頼している。海外研修には一人を予定している。

沼江バイパス 二期分の 進みぐあい

大変遅れている

(土木課長)

問 昨年九月からの進みぐあいはどうなっているか。地元への対応が見られない。

答 秋本土木課長 十一年九月に詳細設計を完了し、

十二月末をめどに地籍調査や測量、一筆丈量図作成に努めていたが、現況と公図の違いから結果的に三月まで作業が遅れた。

現在は鑑定土により土地単価を決める作業に入っている。新年度から用地交渉に入る予定である。

石原中央線の工事は

まもなく実施

(土木課長)

問 町道家台中山線は通行量も多く、交通の難所があるが、改良の計画は。

また、石原中央線の工事はどうなっているか。

答 秋本土木課長 地方特定道路として、町営住宅地水害対策を兼ね道路拡幅をしている。延長二百二十m、車道幅員5mで、これが完成すると、残り七百mが未改良部分となるが、今のところ計画はない。
電源立地事業の石原中央線は、計画の重要変更で該当したため遅れたが、まもなく実施段階に入りたい。

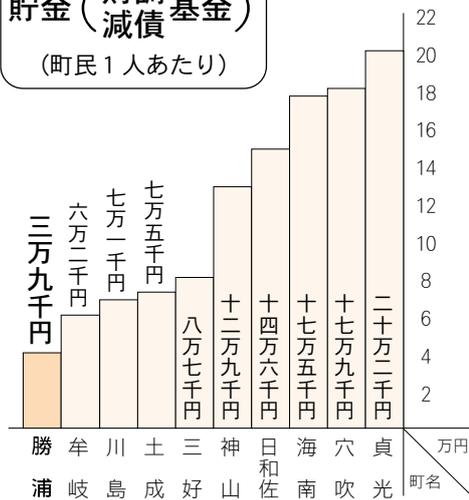


改良が待たれる石原中央線

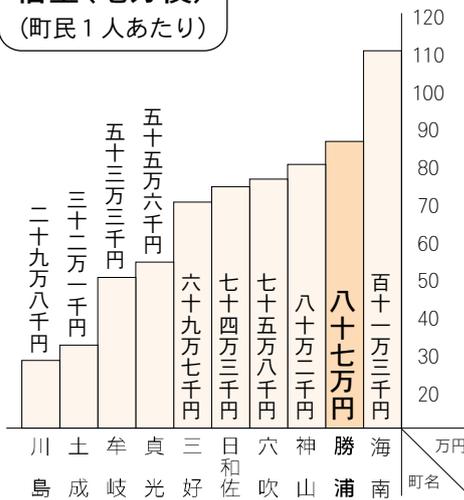
町にお金がないってほんと？



貯金 (財調基金)
(町民1人あたり)



借金 (地方債)
(町民1人あたり)



**類似町村で
借金は二番目
貯金は最下位**

徳島県には人口六千人から九千人までの町が十町あります。その中で、一人あたりの借金(地方債)は二番目に多く、貯金(基金)は一番少なくなっています。(グラフ参照・十年度決算から)



約5億円の町費を投入した医療福祉専門学校

町の借金は六十億円あり、年間約二億円の利息を払っています。十一年度では、借入れが約六億四千万円に対して、返済は利息も含め七億五千万円余りとなっています。このうち約五億円は借金を返すためのお金として、国からの交付税に含まれています。

身の丈以上の事業と見通しの甘さ

人口の少ない町でありながら、町立病院を持ち、専門学校への投資やクリーンセンター建設など、身の丈以上の事業を進めてきました。

自ら身を削って

また、不況のために国からの交付税が伸びなかったことも大きく影響しました。一方、これらの投資は、町民福祉や活性化のためには大きな役割を果たしています。

議会は、まず二人の議員定数を減らし、出張日当などの経費を削減するなど先頭に立って取り組んできました。

町においても、特別職・管理職の期末手当のカットや臨時職員を減らすなど、三千万円を超える経費の削減に取り組んでいます。しかし、まだまだ財政再建には不十分です。

これからどうする 議会でも白熱の議論

「職員数など人件費の削減をせよ」「同和对策課の廃止を」「各種団体への補助金を洗い直すべき」とか、「弱い立場の人にしわよせはすべきでない」「不急の公共事業は凍結して暮らし優先に」などいろいろ意見が出されています。

また、事業の選択についても、「利用度の少ない事業は凍結すべきだ」という意見や「補助率のいい事業を優先すべき」など白熱の議論が行われています。

町民のみなさんのご意見を

財政建て直しのために今後どうすべきか、ぜひとも町民のみなさんの率直なご意見をお聞かせください。

実用的な

書写技術の向上を

書道教室のみなさん

級長 立岩淳子さん

— 活動内容は。

殿川先生のご指導で毎月二回教室を開いています。会員十七人のうち三分の一が十年以上活動を続けており、三人は準師範の資格を持っています。町の芸術祭や新春夢くらべ書道展で銀行、郵便局、農協などに作品を展示しています。

文化、芸術の向上と実用的な書写技術の向上をめざしがんばっています。

— 議会だよりの感想は。

町のことがよくわかり、町の広報より関心を持って読んでいます。ぜひ議会の傍聴に行きたいと思っています。

— 議会や町に対しての要望は。

若い人の働く場の確保や、花嫁・花婿対策と少子化対策に力を入れてほしい。

また、早く財政を立て直して人の集まるような施設を造ってもらいたいと思います。



熱心な書道教室の皆さん

編集後記

木々の芽が萌えさかる中、平成十二年度のスタートとなりました。今年こそ景気回復を願いつつ、議会だよりをお届けします。

本年は介護元年、行財政改革元年と位置づけられています。

厳しい財政事情の中で、特色のある町づくり、そして、住民のニーズにどう応えていくのか、行政と議会の真価が問われる時です。

私達議員もこのことを肝に命じ、皆さんを重ねていかなければならないと思っています。

町民に親しまれ、愛される内容に心を込めて編集しました。ご意見、ご感想をお寄せください。

(雅)

議会のうごき

2 月

- 1日 議会広報調査特別委員会
- 3～4日 厚生常任委員会県外研修
- 4日 勝名地区町村議会議長会定期総会
- 8日 議会広報調査特別委員会
- 9日 総務常任委員会
- 9～10日 産業建設常任委員会県外研修
- 10日 厚生常任委員会
- 15日 勝名町村議会議員研修会
- 16日 平成12年第1回臨時議会・全員協議会
- 21～22日 総務常任委員会県外研修
- 24日 勝浦川整備促進特別委員会
- 25日 徳島県町村議会議長会第51回定期総会
- 28日 産業建設常任委員会
- 29日 議会運営委員会

3 月

- 1～2日 厚生常任委員会
- 4日 ふるさと会との交流会
- 6日 総務常任委員会
- 9日 専門学校卒業式
- 10日 3月定例議会開会
- 15日 勝浦中学校卒業式・3月定例議会再開
全員協議会
- 16日 3月定例議会・一般質問
- 17日 小学校卒業式
- 21～23日 3月定例議会・一般質問
- 24日 3月定例議会
- 27日 全員協議会
- 27～29日 3月定例議会・議案審議
- 29日 閉会・小松島市外三町村衛生組合総会
- 30日 土地開発公社理事会

4 月

- 4日 厚生常任委員会
- 6日 議会広報調査特別委員会
- 9日 専門学校入学式
- 11日 各小学校・中学校入学式
- 14日 戦没者慰霊祭
勝名地区町村議会議長会臨時総会
- 19日 小松島市外三町村衛生組合竣工式
平成12年第2回臨時議会
- 20日 和歌山県那智勝浦町表敬訪問
徳島県町村議会議長会理事会
- 21・25日 議会広報調査特別委員会
- 25日 上勝町議会議員視察来町（議会広報）
- 27～28日 議会広報研修会
- 28日 東部広域農道整備促進特別委員会